

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		公園維持管理事業		担当課	建設課
総合計画	政策	くらしの基盤		計画期間	昭和57年度～
	施策	利便性の高い都市基盤の整備		種別	任意の事務
	基本事業(取組)	公園・街路樹等の適正な維持管理		市民協働	事業協力
予算科目コード	01-080402-05 単独		根拠法令・条例等	都市公園法、守谷市都市公園条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民が緑豊かでレクリエーションやスポーツの場として利用することができるようにするため。	公園内の植栽管理を委託し、維持・管理する。 公園内の施設を適切な状況で利用できるように維持・管理する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
宅地開発等により整備された公園内の施設や植栽等を適切に維持管理し、市民の憩いの場として、いつでも安心して楽しく利用できるよう維持管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
樹木の生長による剪定要望の増加や、老木、松くい虫等による危険木の増加に伴い、管理樹木の管理費用が増加している。	通年で管理工や健全度調査の作業進捗を執行管理する。 令和４年度末に入札を行い、令和５年４月１日から管理作業を行う。 剪定ローテーション計画の見直し作成。（令和５年１２月頃を目標）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
・市内を１４工区（地区毎）に分けて公園・街路樹を管理し、長期契約（３年間）を行うことにより安定した管理作業（工程）と経費削減を行う。 ローテーション形式による剪定を行い、各地区の平等な剪定対応と良好な景観を維持する。 ・樹木の健全度調査を実施することで、危険木の倒木を予防する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度 of 取組（評価、課題への対応）
3 箇年契約を行い一体的な樹木の管理を行うことで、公園内の植栽や街路樹等を保全した。今後も適正な維持管理に努め、良好な状態を保っていく。	公園植栽管理業務の3 箇年契約（令和2 年度～令和4 年度）に基づき、経費削減に努めながら適切に維持管理を実施した。 また、公園長寿命化計画を策定した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
事故件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
遊具修繕数（箇所）	43.00	24.00	43.00	43.00	24.00	10.00	30.00
成果の動向（→その理由）							
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	3 か年契約による公園や幹線道路に関わる樹木の一体的な管理や、適切な遊具等の修繕を進めてきたため、事故は発生せず、また遊具等の修繕件数が減少し、成果は向上している。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	3 か年契約を行い、公園や幹線道路の樹木を一体的に管理することで、公園内の植栽や街路樹等の適切な維持管理を継続する。 なお、老木等の増加に伴い、事業費は増加する見込である。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	515,899	508,117	485,541	513,992	513,992
	国・県支出金	6,799	6,800	6,800	6,800	6,800
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	11,013	24,200	17,005	1,852	1,852
	一般財源	498,087	477,117	461,736	505,340	505,340
正職員人工数（時間数）		2,428.00	2,428.00	2,313.00	0.00	0.00
正職員人件費		9,829	9,394	8,919	0	0
トータルコスト		525,728	517,511	494,460	513,992	513,992

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		公園施設改修事業		担当課	建設課
総合計画	政策	くらしの基盤		計画期間	平成20年度～
	施策	利便性の高い都市基盤の整備		種別	任意的事務
	基本事業(取組)	公園・街路樹等の適正な維持管理		市民協働	
予算科目コード	01-080402-06 補助		根拠法令・条例等	守谷市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民が、安全・安心に公園施設を利用できるように、平成20年度から大規模公園の改修工事を実施し、平成24年度には守谷市公園施設長寿命化計画を作成している。	今年度の主な工事 ・四季の里公園電灯改修業務
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
公園長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の改修を計画的に実施し、市民が安全で快適に利用できるように取り組む。	
（参考）基本事業の目指す姿	
・公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。 ・利用者の利便性及び安全性の向上を図る。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
・市内の全ての公園について、誰もが安全に楽しく利用できるように基本計画が必要。	令和2年5月 長寿命化計画の現況調査見直し業務 令和3年5月 長寿命化計画策定見直し業務
	令和5年 インクルーシブ公園基本計画策定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
・長寿命化計画の見直しを行う。 ・今後の公園改修の方針について、市民とともに基本計画を定める。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な公園改修工事等を実施した。	公園施設の点検等を踏まえて公園を改修した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
改修率＝改修施設数÷計画施設数（10施設）（％）	90.00	60.00	90.00	90.00	90.00	90.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	公園長寿命化計画及び今後策定予定の全公園基本計画に基づき、次年度以降計画的に改修するため、成果は横ばいである。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	公園施設の点検結果や公園施設長寿命化計画及び今後定める予定の全公園基本計画に基づき、公園改修等を計画的に行うことで、誰もが安全・安心に利用できる公園にしていく。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	9,000	12,703	17,919	19,371	22,000
	国・県支出金	1,357	3,000	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	7,643	9,703	17,919	19,371	0
	一般財源	0	0	0	0	22,000
正職員人工数（時間数）		431.00	431.00	250.00	431.00	0.00
正職員人件費		1,745	1,668	964	0	0
トータルコスト		10,745	14,371	18,883	19,371	22,000

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		公園まちづくり団体助成事業		担当課	建設課
総合計画	政策	くらしの基盤		計画期間	平成14年度～
	施策	利便性の高い都市基盤の整備		種別	法定＋任意
	基本事業（取組）	公園・街路樹等の適正な維持管理		市民協働	補助事業
予算科目コード		01-080402-07 単独	根拠法令・条例等	守谷市公園等維持管理団体助成金交付要綱 守谷市公園等里親事業実施要項	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 公園等維持管理団体助成事業は、公園等の維持管理を行う参加団体に助成し、年間を通し公園等を良好に管理してもらう。 公園等里親事業は、公園や植樹樹等の里親団体に、花苗や用品及び用具の提供等必要な支援を行い、環境美化や緑化の推進をしてもらう。 ・公園等維持管理団体：15団体（登録16団体） ・公園等里親団体：72団体
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民や団体等による年間を通じた公園等の管理及び緑化について協働のまちづくりを推進する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷市の玄関口である守谷駅の植樹樹や開通した坂町清水線等を重点箇所とし公園等里親において草花の植栽をしている。里親がいない植樹樹が残っているので、里親の活動を拡充し、協働による魅力あるまちづくりを推進していく必要がある。	公園等里親事業 表彰・情報共有・団体間交流の場の提供（代表者会議）…随時 団体への参加依頼（勧誘）…随時 広報等による募集…随時 花苗等の配付…随時 守谷市公園等里親事業実施要綱による表彰…年1回
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
駅前の企業や店舗等に、今後も公園等里親の活動の趣旨と内容を周知し、多くの団体の参加を得られるように取り組む。また、国体開催に合わせ守谷駅前を花いっぱいにしたので、これを契機に、団体の絆を強め、活動場所と団体数を増やしていく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
公園等里親事業と公園等維持管理団体助成事業の周知を行うことにより、団体数を増やし、協働のまちづくりを拡充することで、緑化を推進した。	公園維持管理団体助成事業は15団体の参加により、24公園等の良好な維持管理ができた。また、公園等里親事業は72団体の参加によって、植樹柵や緑道を花で彩ることができた。（1団体はコロナで休止中）

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
参加団体数（件）	18.00	17.00	17.00	18.00	18.00	15.00	17.00
里親団体数（件）	70.00	71.00	71.00	70.00	73.00	72.00	80.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	高齢化により参加団体や里親団体が減少傾向にある。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	団体の方の高齢化により今後の活動が続けられないという意見が多数あるため、活動を継続しやすいような制度づくりや新たな団体の発掘に努める。 公園等維持管理団体助成事業や公園等里親事業を広くPRすることにより参加者を募り、協働のまちづくりを推進する。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	7,266	8,231	8,241	10,739	10,739
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,266	8,231	8,241	10,739	10,739
正職員人工数（時間数）		429.00	429.00	520.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,737	1,660	2,005	0	0
トータルコスト		9,003	9,891	10,246	10,739	10,739